

■「まちづくりを考える日」 発表団体

13:50	グループ	順番	事業の名称	提案団体	公民館区	協働・連携団体	事業概要	活動展示
1 2 分 程 度	1	1	水辺と公共交通の概念を変える！ 狐森島開拓プロジェクト	ミライソウゾウラボ	朝酌	有限会社矢田渡船観光	大橋川に浮かぶ無人島で、まちづくりに取り組んでいます 船でしか渡れない無人島「狐森島（きつねもりじま）」。水道も電気も通っていないこの島を、市民の有志が遊んで・つくって・育てる場所として活用する取り組みです。 昨年度は、島の木材や廃材を使ってツリーデッキやピザ窯などをDIYで製作し、お披露目イベント「無人島で遊ぼう」を開催しました。広報開始から1週間で定員を超える120名超から申込をいただき、悪天候による延期を経て、64名の親子連れが参加。参加者全員から「満足」以上の評価をいただき、船で島へ渡る体験そのものが大きな魅力になることを確信しました。 今年度は、一日を通して島で過ごせる滞在環境づくりを進めます。バイオトイレや通路などの環境を整え、新しい遊具の製作にも取り組みます。秋には、愛犬と一緒に楽しめる「無人島で遊ぼう」も開催予定。 島づくりの過程そのものに関わりたい人も、ウェルカムです。ものづくりが好きな方、船を運転できる方、草刈りが得意な方、なんとなく気になる方も、一緒に活動しませんか？	有
1 2 分 程 度		2	不登校・ひきこもりの居場所づくり ～立場にとらわれないサード・プレイス～	みんなの居場所 『ぼちぼち』	川津	川津地区社会福祉協議会 川津公民館	不登校やひきこもりなど、一般社会において生きづらさを感じているさまざまな方たちのための居場所づくり。経験者自身が運営している。 当事者に限らず、その家族や支援者、理解・関心のある方の利用も受け入れており、立場や世代などを問わず、誰もがありのままで居られる場所を目指している。 毎月第2・第4水曜日に開催。10:00から17:00まで開けている。いつ来て、いつ帰ってもよい。何かに参加するも、しないも自由。多様な交流のため、ルールを設けることは必要最低限としている。 Facebookページ、LINEオープンチャットなどのSNSも活用中。	有
1 2 分 程 度	2	3	地域資源を生かして村づくり	法田区自治会	美保関	法田区自治会に関わる全ての団体 （例えば松江市、島根県、学校、公民館、その他の任意団体など）	これまで見慣れた当たり前にあった自然を再定義し価値を高め魅力を発信する取り組みをしています。 国の名勝地：「美保の北浦」の見えるリアス式海岸散歩道、島根半島・宍道湖中海ジオパークのジオスボット「法田海岸の波食棚」、釣鉾山灯台小道、海食洞、あじさいロードなどの整備を進めます。 そしてその魅力を村の住民と外に居る人が共有するためのプラットフォームとして「一日区民」を始めました。 「一日区民」の取り組みはこの村の価値を共有できる人に集会所を開放しようとする取り組みです。 閉鎖的だった村は社会の変化を受入れながら主体として関わろうとしています、地区の内と外が互いに尊重し合える関係づくりを目指しています。	有
1 2 分 程 度		4	ゆる～い防災ネットで「まちづくり」はできるか？	ぼうさい古志原 ネットワーク	古志原	古志原地区自治会連合会 古志原地区社会福祉協議会 島根県立大学 島根大学 松江南高校など	古志原地区の住民は、地域内での災害をあまり経験しておらず、自然災害が少ない地域との認識を持っている人が多いと感じていた。そのため防災をテーマにまちづくりができないかと考える防災士の有志が声を掛け合い、2025年（令和7年）4月に団体を設立した。 古志原地区住民の防災・減災意識を高める日常活動を行い、災害時に一人も犠牲者を出さない態勢を構築するためのネットワークづくりを目指している。 2025年度は、防災士自らの知識習得に努める一方、地区住民が参加するメディカルラリー、古志原地区防災広場を開催したほか、松江市災害派遣職員が業務についている石川県珠洲市へ現地視察、意見交換のため訪問、地震、豪雨被災地の現状、取り組み、復興状況を目の当たりにし、古志原地区の防災、減災態勢に反映させるなど活動を本格化させている。	有
1 2 分 程 度	3	5	グラウンドゴルフが結ぶ、地域の絆と人の つながり ～笑顔がひろがる八束のまちづくり	波入グラウンドゴルフ 同好会	八束	波入地区区会及び波入地区寿会（高齢者 クラブ）	波入地区において、町内会および寿会からの補助金と役員の協力を得ながら、グラウンドゴルフを中心とした活動を継続的に実施している。年齢や体力を問わず参加しやすいグラウンドゴルフの特性を活かし、誰でも気軽に参加できる場を提供することで、地域住民同士の自然な交流と関係づくりを促進している。 単発のイベントにとどまらず、「クリーン八束」の清掃活層との連携や、救護施設「新生園」との交流活動も行っている。 定期的な開催や多様な参加機会を設けることで、関係性が継続する仕組みを構築し、八束地域内のつながりの強化により、世代間交流・親しい関係づくり・高齢者の生きがい対策・要配慮者支援・災害時等の支援等に役立てることのより、最終的に八束地区のまちづくりにつなげている。	無
1 2 分 程 度		6	新たな観光資源づくり	海の楽校	島根	島根大学 NPO法人アンダンテ21 島根公民館 日本の貝図鑑シエルペディアほか	島根町小波海岸に打ち上げられる微小貝の多様性を記録・分類し、一つひとつ名前を調べていったところ、昨年末までに430種の貝を発見。その中には、環境省が「絶滅危惧種」としている貝が43種、また、砂粒のように小さな「微小貝」が210種以上も含まれており、その内容を地域独自の「小波浜貝の図鑑」として制作・発行。併せて、海岸での微小貝採集・観察・分類の体験型環境学習イベントを実施し、地域資源の見える化と学びの共有を図りました。	有